

広告媒体連携

2023年1月1日版

株式会社シナブル

# 目次

目次	2
1. Google	3
1-1. 広告アカウントに登録	3
1-2. MCCアカウントに登録して 開発者トークンを生成	3
1-3. Google API Consoleでクライアント ID とクライアント シークレットを生成	4
1-4. Refresh Tokenを生成	6
2. Meta	10
2-1. Meta Business アカウントと広告アカウント登録	10
2-2. Meta for Developerでアプリ作成	11
2-3. システムユーザーを生成	12
2-4. Access Tokenを生成	13
3. Yahoo	15
3-1. 広告アカウント登録	15
3-2. Yahoo!広告 APIにお申し込み	16
3-3. アプリケーションの登録	16
3-4. Refresh Tokenを生成	17
3-5. サイトリターゲティングID 生成	18

# 1. Google

ECIでセグメントした顧客のリストをGoogle Adsのオーディエンスセグメントの顧客リストに登録します。登録された顧客リストはGoogle 広告のターゲット設定で利用されます。

Googleへ自動連携するには下記の情報が必要です。

- 広告アカウントID
- 開発者トークン
- クライアントIDとクライアントシークレット
- Refresh Token

## 1-1. 広告アカウントに登録

<https://ads.google.com/>

上記のURLでユーザを登録してください。

□の\*\*\*-\*\*\*-\*\*\*が**広告アカウントID**です。



## 1-2. MCCアカウントに登録して 開発者トークンを生成

### 1-2-1. クライアント センター (MCC) アカウント(Manager Account)加入

開発者トークンを取得するにはGOOGLE 広告クライアント センター (MCC)へ登録が必要です。

<https://ads.google.com/home/tools/manager-accounts/>

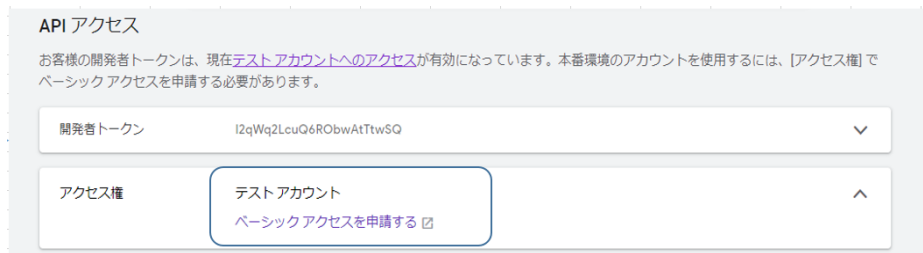
API センター(ツール &設定 &設定 &セットアップ > API センター)を開きます。

**開発者トークン**が表示されます。



## 1-2-2. ツールと / API センターページでベーシックアクセスを申請する

APIアクセスのアクセス権は最初にテストアカウントになります。本番で利用するにはベーシックアクセス権限が必要です。



API アクセス

お客様の開発者トークンは、現在[テストアカウントへのアクセス](#)が有効になっています。本番環境のアカウントを使用するには、[アクセス権]でベーシックアクセスを申請する必要があります。

開発者トークン: I2qWq2LcuQ6RObwAtTtwSQ

アクセス権: テストアカウント

[ベーシックアクセスを申請する](#)

「ベーシックアクセス申請する」をクリックして申請してください。

承認が下りたらアクセス権がテストアカウントからベーシックアクセスに変更されます。

承認には数日が掛かります。

## 1-3. Google API Consoleでクライアント ID とクライアント シークレットを生成

Google広告を自動連携するにはGoogle APIの利用登録が必要です。

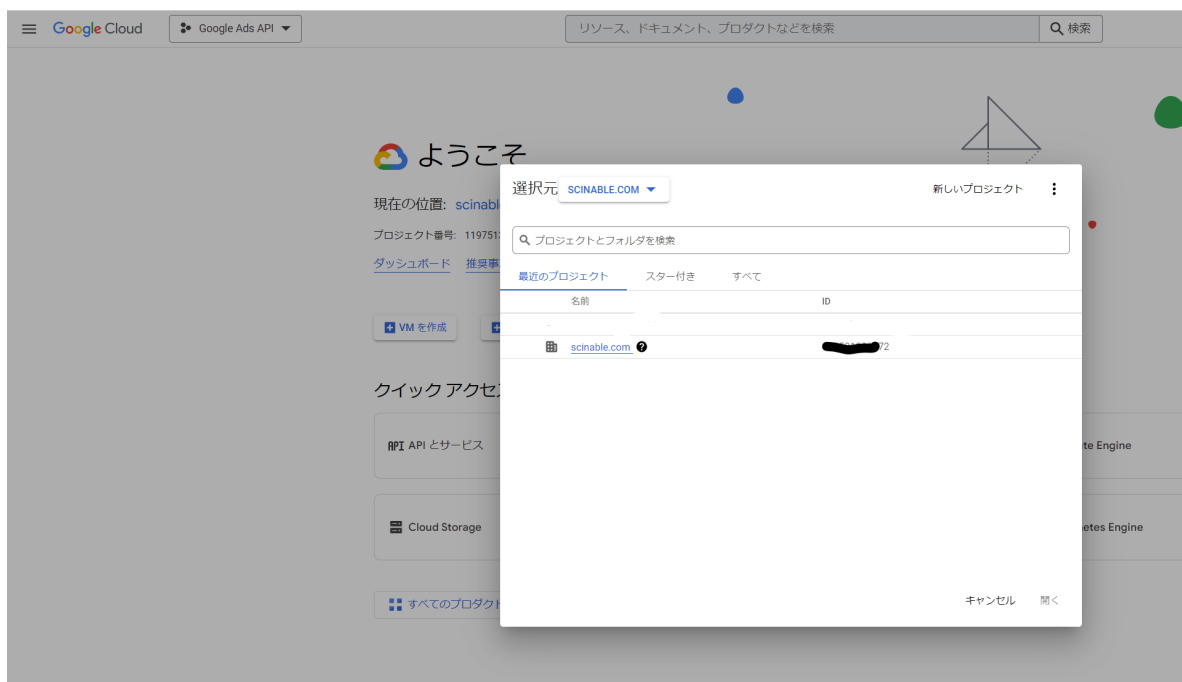
下記URLで登録します。

<https://console.cloud.google.com/project>

詳細な説明は下記URLをご参照ください。

[https://developers.google.com/google-ads/api/docs/oauth/cloud-project#create\\_a\\_client\\_id\\_and\\_client\\_secret](https://developers.google.com/google-ads/api/docs/oauth/cloud-project#create_a_client_id_and_client_secret)

### 1-3-1 プロジェクトを作成する



新しいプロジェクトをクリックしてプロジェクト名を入力して登録します。

Google Cloud

リソース、ドキュメント、プロダクトなどを検索

新しいプロジェクト

プロジェクト名 \*  
Google Ads API

プロジェクト ID: alert-diode-369408。後で変更することはできません。 [編集](#)

組織 \*  
scinable.com

プロジェクトに関連付ける組織を選択します。この選択を後で変更することはできません。

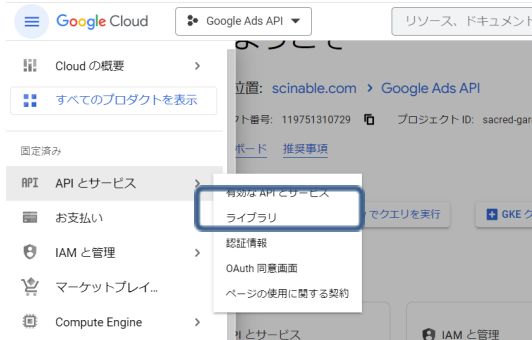
場所 \*  
scinable.com

[参照](#)

親組織またはフォルダ

[作成](#) [キャンセル](#)

### 1-3-2 プロジェクトで Google Ads API を有効にする



APIとサービスの有効なAPIとサービスに移動します。



「+ APIとサービスお有効化」をクリックして、Google Ads APIを適用してください。

### 1-3-3 クライアント ID とクライアント シークレットを作成する



「+ 認証情報を作成」をクリックして登録する **クライアント ID**と **クライアントシークレット**が表示されます。認証済みのリダイレクトURIには1-4のRefresh Token生成時利用されます。  
<https://www.scinable.com>を指定してください。

クライアントID	751010790-f1ed4b6e040b1b12f121m1zps.googleusercontent.com
クライアントシークレット	GOCSPX-294-0F7u6t1U5T11YdPKMc
作成日	2022年6月18日 9:19:07 GMT+9

ブラウザからのリクエストに使用します

[+ URI を追加](#)

ウェブサーバーからのリクエストに使用します

URI 1 \*

https://www.scinable.com

+ URI を追加

注: 設定が有効になるまで 5 分から数時間かかることがあります

保存 キャンセル

<https://developers.google.com/identity/protocols/oauth2/web-server#exchange-authorization-code>

```
https://accounts.google.com/o/oauth2/v2/auth?response_type=code
&client_id=クライアントID
&redirect_uri=https%3A%2F%2Fwww.scinable.com
&scope=https%3A%2F%2Fwww.googleapis.com%2Fauth%2Fadwords
&access_type=offline
&prompt=consent
&include_granted_scopes=true
```

Google にログイン

## アカウントの選択

「EC Intelligence」に移動

② 別のアカウントを使用



日本語 ヘルプ プライバシー 規約

許可をクリックするとAccess Tokenが発行されます。



EC Intelligence

## EC & 店舗販促特化型 顧客と施策の効果が見える マーケティングオートメーション

リピート顧客を育成するための機能がこれ一つで

3分でわかる！EC Intelligence

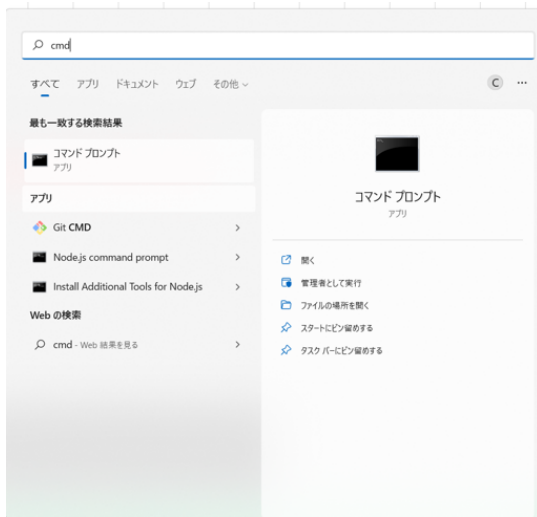
資料をダウンロード



[https://www.scinable.com/?state=adecab532f&code=\\*\\*\\*\\*\\*&scope=https://www.googleapis.com/auth/adwords](https://www.scinable.com/?state=adecab532f&code=*****&scope=https://www.googleapis.com/auth/adwords)

URLのcodeの値がAccess Tokenです。コピーして保存してください。

### 1-4-2 Refresh Token生成



Windowsのコマンドプロンプトを起動して下記のcurlコマンドを実行します。

```
C:\Users>curl \
-d code=Access Token \
-d client_id=クライアントID \
-d client_secret=クライアントシークレット \
-d redirect_uri=https%3A%2F%2Fwww.scinable.com \
-d grant_type=authorization_code https://oauth2.googleapis.com/token
```

実行が成功するとrefresh\_tokenが表示されます。

```
{
  "access_token": "*****",
  "expires_in": 3600,
  "token_type": "Bearer",
  "refresh_token": "*****"
}
```



## 2. Meta

ECIでセグメントした顧客のリストをMetaのオーディエンスに登録します。  
登録された顧客リストはMeta 広告のターゲット設定で利用されます。

Metaへ自動連携するには下記の情報が必要です。

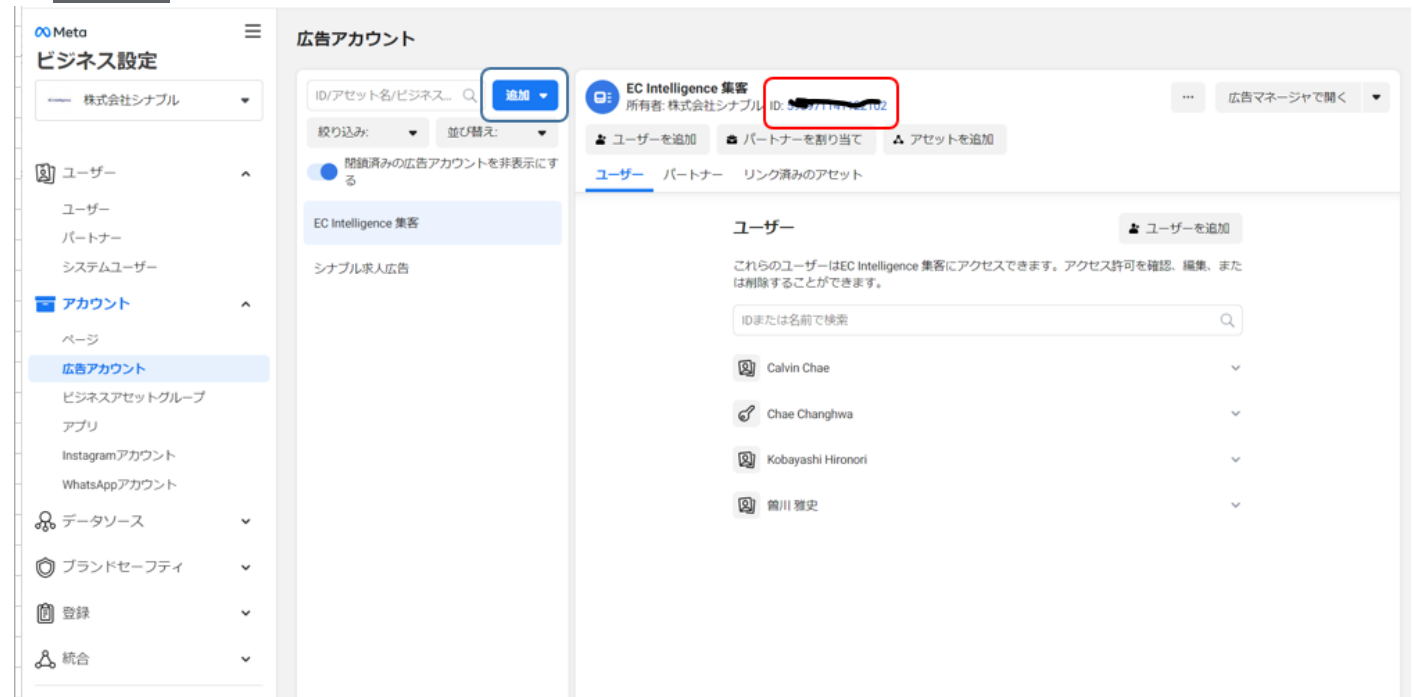
- 広告アカウントID
- アプリIDとapp secret
- Access Token

### 2-1. Meta Business アカウントと広告アカウント登録

<https://business.facebook.com/>

ビジネスアカウントの登録が終わりましたら、ビジネス設定画面に移動、  
広告アカウントの「追加」ボタンをクリックして、広告アカウント追加してください。

□の\*\*\*-\*\*\*-\*\*\*が**広告アカウントID**です。



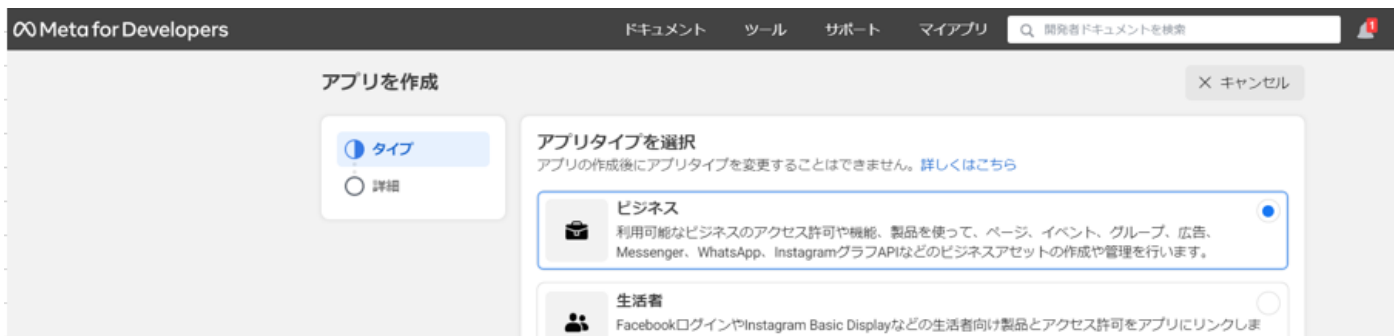
### 2-2. Meta for Developerでアプリ作成

<https://developers.facebook.com/>

## 2-2-1. 「アプリを作成」ボタンをクリックして、ビジネスタイプのアプリを作成します。



タイプはビジネスを選択します。



アプリ名とメールアドレス、ビジネスアカウントを選択します。



アプリの生成が終わったら、ベーシックページに移動します。

アプリID、app secretが表示されます。

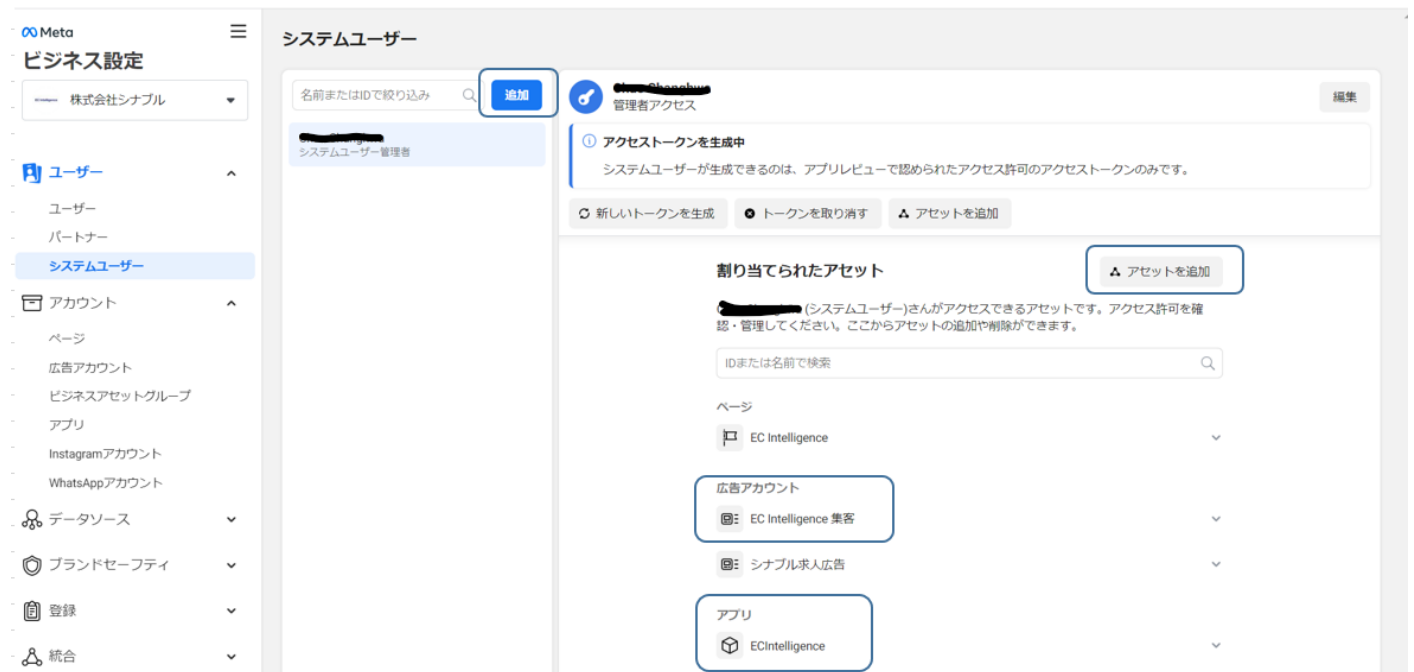
2-2-2. 「商品を追加」ボタンをクリックして、マーケティングAPIを追加します。

2-2-3. プライバシーポリシーのURLを入力して、アプリのモードをライブに変更します。

## 2-3. システムユーザーを生成

<https://business.facebook.com/>

ビジネス設定のシステムユーザーにページに移動します。  
「追加」ボタンをクリックして、システムユーザーを登録します。  
登録したシステムユーザーに「アセットを追加」ボタンをクリックして、すでに登録した広告アカウントとアプリを追加します。

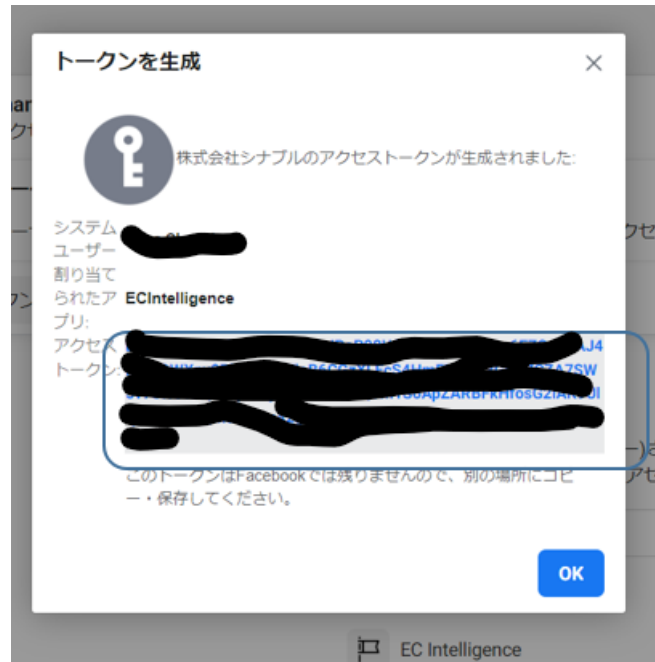
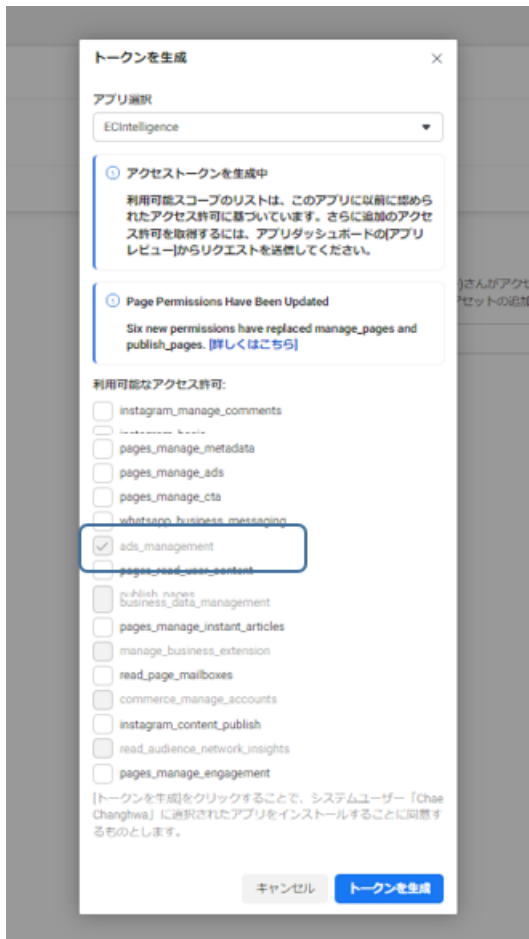


## 2-4. Access Tokenを生成

<https://business.facebook.com/>

「新しいトークンを生成」ボタンをクリックして、アクセストークンを生成します。  
 利用可能なアクセス許可でads\_managementがチェックされているか確認ください。  
 トークンを生成画面に**アクセストーク**が表示されます。生成されたアクセストークは後で表示ができないので、別の場所に保存してください。





### 3. Yahoo

ECIでセグメントした顧客のリストをYahoo デフォルト広告のオーディエンスリストに登録します。登録された顧客リストはYahoo デフォルト広告のターゲット設定で利用されます。

Yahooへ自動連携するには下記の情報が必要です。

- ディスプレイ広告ID
- クライアントIDとクライアントシークレット
- Refresh Token
- サイトリターゲティングID

#### 3-1. 広告アカウント登録

<https://ads-promo.yahoo.co.jp/>

アカウントを登録すると検索広告とデフォルト広告アカウントが生成されます。

Yahoo!広告 APIのお申し込みには、法人管理権限を持つビジネスIDでのログインが必要です。



ECIで利用するのはデフォルト広告IDです。



#### 3-2. Yahoo!広告 APIにお申し込み

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/developercenter/ja/startup-guide/apply-api-use.html>

##### 【B】ビジネスIDをお持ちでない場合

«Yahoo!広告をご利用予定の場合»

1. 以下のリンクより、Yahoo!広告にお申し込みいただき、ビジネスIDの発行をしてください。

[Yahoo!広告 お申し込みフォーム](#)

2.1で発行した法人管理権限を持つビジネスIDでログインしYahoo!広告 APIにお申し込みください。

[Yahoo!広告 API お申し込みフォーム](#)

契約種別は「広告主」を選んでください。

● 契約種別 選択してください

プルダウンメニューをクリックして、お客様に当てはまる契約種別を選択します。契約種別の選択肢は以下のとおりです。

名称	説明
Yahoo!広告 正規代理店	Yahoo!広告の正規代理店としてご契約済みの場合
広告主	Yahoo!広告を利用中で、他の種別に該当しない場合
ツールプロバイダー	APIでツールを開発している場合（開発予定を含む）
運用代行	他社の広告運用を代行している場合（代行予定を含む）

運営サイトURL（半角）

※ 「ツールプロバイダー」を選択した場合は、Yahoo!広告 APIを利用する予定のサービスURLを入力してください。

### 3-3. アプリケーションの登録

Yahoo!広告 APIをデベロッパーのアプリケーションで利用するには、Yahoo!広告 API管理ツールからの登録が必要です。

<https://connect-business.yahoo.co.jp/cooperation>

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/developercenter/ja/startup-guide/app-registration.html>

を参考ください。

認証済みのリダイレクトURIには3-4のRefresh Token生成時利用されます。

<https://www.scinable.com>を指定してください。

アプリケーション名  8/30  
| この項目の入力内容はアプリケーション利用者にも表示されます。

アプリケーションの説明  9/300  
| この項目の入力内容はアプリケーション利用者にも表示されます。

リダイレクトURI  + 追加  
24/500  
| 認可後に、アプリケーションにリダイレクトするためのURIを入力します。  
「追加」ボタンを押して、最大50件まで追加できます。  
リダイレクトURIがない場合は、半角英字で「oob」と入力してください。

スコープ Yahoo!広告 検索広告/ディスプレイ広告  
| この項目の入力内容はアプリケーション利用者にも表示されます。

決定

キャンセル

登録が終わるとクライアントID、クライアントシークレットが表示されます。

YAHOO! 広告

アクセス可能なアプリケーション 登録アプリケーション テストアカウント

登録アプリケーション

登録済みの Yahoo! 広告 検索広告 / ディスプレイ広告 アプリケーションは上順に並んでいます。

アプリケーション名	クライアントID	アプリケーションの説明	リダイレクトURI	スコープ	クライアントシークレット	最終更新日時
scinable	[REDACTED]	顧客データ自動連携	https://www.scinable.com	Yahoo! 広告 検索広告 / ディスプレイ広告	[REDACTED]	2022/11/14 14:59

### 3-4. Refresh Tokenを生成

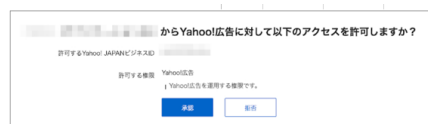
<https://ads-developers.yahoo.co.jp/developercenter/ja/startup-guide/api-call.html>

#### 3-4-1. 認可コード

下記のURLをブラウザで開いてください。

```
https://biz-oauth.yahoo.co.jp/oauth/v1/authorize?response_type=code
&client_id=クライアントID
&redirect_uri=https%3A%2F%2Fwww.scinable.com
&scope=yahooads
```

広告運用の対象であるYahoo! JAPANビジネスIDでログインすると、認可画面が表示されるので、アプリケーション利用者は「承認」をクリックします。



アプリケーション利用者が承認した場合、エンドポイントに設定したリダイレクトURIへリダイレクトされ、認可コード(code)が渡されます。

なお、認可コードは10分経過すると無効化されます。

← → ↺ 🔒 scinable.com/?code=2c4f484490633b6b

SCINABLE

EC Intelligence

BtoC・EC・店舗向け  
LTVが向上する  
マーケティング自動化ソフトウェア

コンバージョン率改善から、リピート顧客育成まで

—— 3分でわかる！EC Intelligence ——



#### 3-4-2. 認可APIへリクエスト

認可コードを使って、下記のURLをブラウザで開いてください。

```
https://biz-oauth.yahoo.co.jp/oauth/v1/token?grant_type=authorization_code
&client_id=クライアントID
&client_secret=クライアントシークレット
&redirect_uri=https%3A%2F%2Fwww.scinable.com
&code=認可コード
```

実行が成功するとrefresh\_tokenが表示されます。

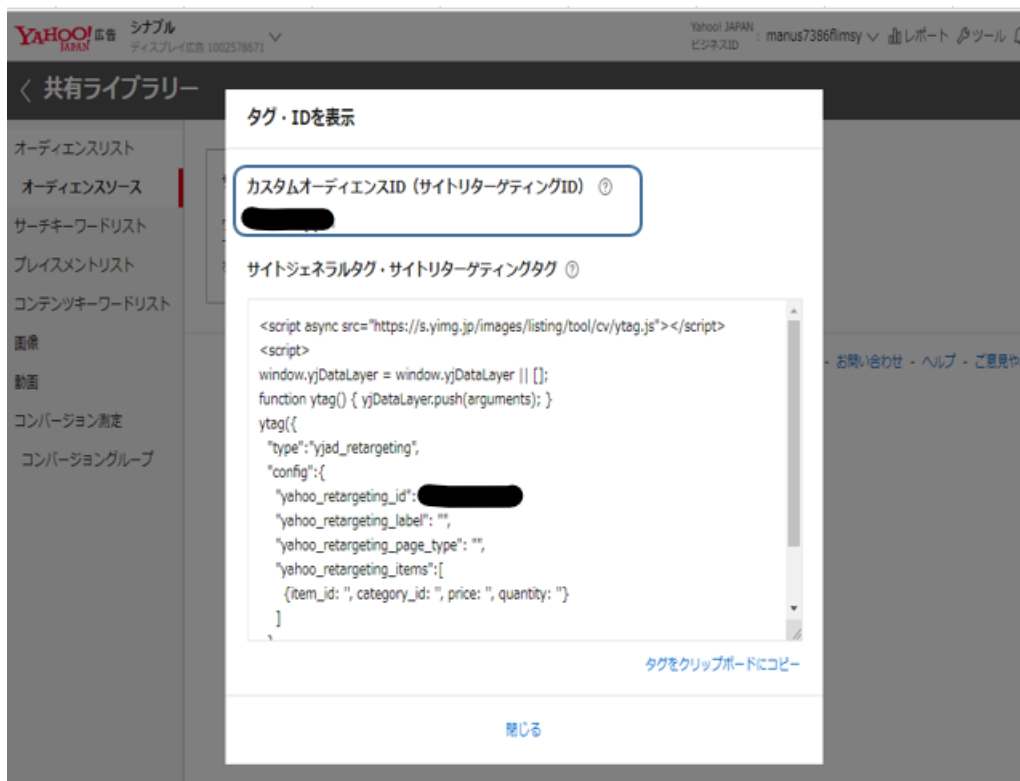


```
{
"access_token": "*****",
"expires_in": 3600,
"token_type": "Bearer",
"refresh_token": "*****"
}
```

### 3-5. サイトリターゲティングID 生成

<https://ads-help.yahoo.co.jp/yahooads/ydn/articledetail?lan=ja&aid=1397>

上記URLのサイトリターゲティングタグの確認、および設置手順をご参考ください。



サイトリターゲティングIDが表示されます。

ウェブサイト訪問ユーザー、条件のオーディエンスリストを作成する場合は、サイトリターゲティングタグの取得に加えて、広告主様のサイトの全ページにタグの設置が必要です。サイトリターゲティングタグを設置することで、タグを設置したページを訪問したユーザーの閲覧履歴を弊社のサーバー上に蓄積し、訪問履歴のあるユーザーに対して広告を表示します。ECIの広告連携にはタグを広告主様のサイトへ設定は必須ではありません。